

2021年6月度留学生説明会「薬物乱用防止について」

今回は、福岡県薬物乱用推進本部のホームページを読み、薬物乱用防止について学習していただきます。（※以下1～5は福岡県薬物乱用推進本部ホームページの抜粋です。）

1. 危険ドラッグとは？

危険ドラッグは、法律の規制が及ばないかのように「合法ハーブ」や「合法アロマ」などと称し、あたかも身体に悪い影響がなく、安全であるかのように見せかけて販売されています。しかし、麻薬や覚醒剤などと類似した成分が含まれており、麻薬などよりも強力な作用を持つ製品もある大変危険な薬物です。死亡例も多数報告されています。また、幻覚や興奮作用により、他人に危害を加えたり、交通事故などを起こす例も多数報告されています。

麻薬や覚醒剤より安く、インターネットなどで手に入りやすいため、若者を中心に広がっていますが、好奇心や軽い気持ちで使用すると一生を台無しにする恐ろしい薬物です。

詳しくは、<https://www.no-drugs-fukuoka.jp/about/>



2. 乱用薬物の種類

薬は使い方が正しければ、人間にとって、とても役に立つものです。しかし、薬を医療目的以外に使ったり、医療目的にない薬を不正に使ったりすることを薬物乱用といいます。たとえ、1回だけの使用でも乱用です。乱用薬物には、粉末、液体、錠剤などのように、さまざまな形のものがあります。脳に与える影響によって、大きく三つのタイプに分けられます。

詳しくは、<https://www.no-drugs-fukuoka.jp/type/>



3. 大麻は違法薬物!!

近年、若年層を中心に大麻の乱用による検挙者数が増加しています。大麻は、脳に影響を与える違法な薬物です！正しい知識で、大麻の乱用から自分の未来を守りましょう。

詳しくは、<https://www.no-drugs-fukuoka.jp/taima/>



4. 薬物に手をだすと…

薬物には、薬が切れた時に生じる不快感に耐えられなくなり、続けて使わないといけなくなる「依存性」と、繰り返し使っているうちに同じ量では効かなくなっていく「耐性」があります。薬物をやめたくてもやめられなくなり、薬物によって、大切な人生や未来が壊れてしまいます。薬物の急性中毒により、たった一度の使用でも命を落とすこともあります。

詳しくは、<https://www.no-drugs-fukuoka.jp/risk/>



5. 薬物に関する Q&A

薬物に関する間違った情報も、世の中にはたくさんあふれています。正しい知識を身につけて、危険な犯罪から自分や、自分の大切な人を守りましょう。

詳しくは、<https://www.no-drugs-fukuoka.jp/qa/>



○「薬物のない学生生活のために」（文部科学省・警察庁・内閣府・厚生労働省）
要点が分かりやすくまとめられているこのパンフレットも便利です。

https://www.mext.go.jp/content/20210319-mxt_kenshoku-100000612_1.pdf

○お願い

説明会にきちんと参加したことを示すため、今回は出席カードへ次の文を張り付けてください。
「危険ドラッグは、麻薬や覚醒剤などと類似した成分が含まれており、麻薬などよりも強力な作用を持つ製品もある大変危険な薬物です。」

○その他（最近の重要情報）

◆5月28日発表の福岡県における緊急事態宣言の延長について（多言語）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/coronagaikokujin307.html>

◆令和3年度「食育月間」チラシ（6月3日、本学ホームページにも掲載）

<https://www.kiis.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/460ee1b51956b116ac5d6eca72719a21.pdf>